

神戸大学 MBA(専門職大学院) 2025 年度前期  
現代経営学応用研究(アントレプレナー・ファイナンス)

担当教員： 蔭山 広明  
連絡先 hirokageyama@people.kobe-u.ac.jp  
開講日： 2025 年 4 月 5 日～ 2025 年 4 月 26 日の毎週土曜日  
開講時間： 1 限・2 限 (8 時 50 分～12 時 10 分)

**【授業のテーマ】**

イノベーションを通じた価値創造に求められるアントレプレナーシップと、そのために必要となるファイナンスに関する基礎理論を学習する。

**【授業の目標】**

イノベーション創出や価値創造のためのアントレプレナーシップとアントレプレナーファイナンスの理論を学習し、事業戦略への落とし込みのために必要となるヒト・モノ・カネの設計ができる力を習得する。

具体的には、イノベーションとアントレプレナーシップの基礎を学習し、ベンチャー企業にとっての成長ステージと資金調達、資金調達に必要な事業計画、企業価値評価(バリュエーション)の考え方等、ベンチャー企業のファイナンスについて広範に精通することを目的とする。また、シリコンバレーを題材にイノベーションエコシステム形成の背景や要諦とベンチャーキャピタル業界の発展の系譜を学ぶ。

さらに、理論や知識を応用した実践力を習得するために、イノベーションアイデアの「ピッチブック」(新規事業に関する提案スライド)をグループで作成しクラス発表を行う。

**【授業の内容】**

本講義は対面で実施する(但し、感染症対策などの事情により、オンラインによる講義を行う可能性がある。)

2 コマ 4 回(合計 8 コマ)の講義で構成し、各回のテーマは以下の通り。

なお、4回の講義全体を通して、グループワークによる事業提案書「ピッチブック」を作成して、最終回にクラス発表することを想定する（詳細は講義において説明する）。

### 1週目： 2025年4月5日（土曜日）

- ① （1限）イノベーション概論 ～ イノベーションの基本を学ぶ。まずは以下に代表される問いに答えることから始める。
- ・ イノベーションの定義とは何か？
  - ・ なぜイノベーションが必要とされるか？
  - ・ イノベーションにはどのような類型（パターン）があるか？
- ② （2限）アントレプレナー・ファイナンス概論 ～ 「どんなリスクマネーを、誰から、どうやって調達するか？」 ～ アントレプレナーにとって成長のために必要な資金調達に関する基本的な考え方を学ぶ。
- ・ ベンチャー企業の成長ステージと資金調達手法
  - ・ 資金提供者の類型や特徴
  - ・ 事業提案書「ピッチブック」とはどのようなものであるか？

注： 1週目の2限の最後に、グループワーク演習のためのグループ分けを行う。

### 2週目： 2025年4月12日（土曜日）

- ③ （1限）コーポレート・ファイナンスとバリュエーション概論 ～ アントレプレナーが成長資金を調達し、企業価値向上のために採りうる施策を思考するために不可欠である、自らの企業や株式の価値を客観的に評価する基本的な理論と手法を学ぶ。
- ・ コーポレート・ファイナンス理論（ポートフォリオ理論、リスク・リターンの考え方など）
  - ・ 代表的な企業価値評価手法（DCF法、マルチプル法など）
- ④ （2限）コーポレート・ファイナンスとバリュエーション実践（演習）
- ・ 企業価値評価の実践演習として、財務計画や企業価値評価を行うためのスプレッドシートを実際に作成する。

注： スプレッドシートの作業ができるよう、講義にパソコン持参のこと。

なお、2週目講義後に財務計画と企業価値評価のスプレッドシートを作成する課題を課す予定（詳細は講義において説明する）。

3 週目： 2025 年 4 月 19 日（土曜日）

3 週目講義の冒頭に、財務計画と企業価値評価に関する理解度を確認する演習問題（筆記課題）を実施する予定（詳細は講義において説明する）。

- ⑤ （1 限）シリコンバレーの発展とイノベーションエコシステム形成 ～ 卓越したベンチャー企業を輩出するイノベーションエコシステムが形成される背景について学ぶ。
- ・ 世界を代表するイノベーションエコシステムであるシリコンバレーは、どの様に発展したか？それはどの様な要因で起きたか？
  - ・ VC（ベンチャーキャピタル）業界はどの様に発展したか？
- ⑥ （2 限）グループワーク課題
- ・ 「ピッチブック」作成のグループワーク演習を行う。

4 週目： 2025 年 4 月 26 日（土曜日）

- ⑦ （1 限）グループワーク課題とブラッシュアップ
- ・ グループワーク演習の最終化と発表に向けてのブラッシュアップをグループで行う。
- ⑧ （2 限）グループワーク課題発表会
- ・ グループワーク課題をグループ毎に発表
  - ・ 他のグループの受講生や講師との質疑応答
  - ・ 講師からの講評

なお、4 週目講義後に、レポート課題（受講生は個々に作成して提出）（詳細は講義において説明する）。

【教員】 蔭山広明

担当教員は、国内メガバンク、外資系投資銀行において、コーポレート・ファイナンス、M&A 関連業務等に従事した後、グローバル消費財ブランドの事業会社及び同社の CVC（コーポレート・ベンチャーキャピタル）において多くの新規事業開発案件に従事した職務経験を有す。さらに、本学においては、大学院科学技術イノベーション研究科において、アントレプレナーシップ講座主任として、理系の博士課程の学生（社会人学生も含まれる。）を対象に、科学技術上のブレークスルーを基にしたイノベーションの社会実装について、実務・理論両面から複眼的な指導を実践している。これらの経験と専門知識を活かし、事業創造に関わるうえで必須となる知見について、実践的な学びができる授業を実施する。

### 【成績の評価方法】

講義への参加・貢献度（20％）と演習・レポート（80％）で評価する。

- ・ 講義への参加よりも、講義への貢献を重視します。クラスに貢献する発言や質問を歓迎します。

### 【講義資料】

- ・ 予習用の講義資料等を事前に BEEF+ にアップロードする（書面配布はしない）。

### 【事前・事後学修】

- ・ 各回の講義に先立ち、BEEF+ に公開する講義資料等を事前に熟読し予習すること。
- ・ 講義後には講義内容の理解を深めるために講義資料等を復習すること。
- ・ 講義で課された課題・演習・レポートに関しては、講義資料等を復習し、自身で考え、自身で作成して提出すること。
- ・ 講義内容の理解を確認するため、適宜レポート課題や演習などを与えることがある。
- ・ 本学では 1 単位あたりの学修時間を 45 時間としている。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行うこと。

### 【オフィスアワー】

- ・ オフィスアワー： 本講義の前後に設定する。相談を希望する学生は、事前に BEEF+ のメッセージ機能または [hirokageyama@people.kobe-u.ac.jp](mailto:hirokageyama@people.kobe-u.ac.jp) にて連絡のこと。

以上